

食育 6 だより

食と農の距離を縮める地産地消

健康志向や食の安全への意識が高まる中、国内産の食品を求め人や産地表示へ関心を示す人が増えてきました。しかし、現在日本はその食料供給を自国でまかなうことができず、

その多くを海外からの輸入に頼っており、消費者から食料生産の現場が見えにくくなっています。

このような中、食料生産の現場では、消費者や生産者が一体となって「顔の見える関係づくり」が進められています。その代表的なものとして農産物の直売所があります。直売所は、消費者にとっては顔が見え、産地や生産方法が明らかで新鮮な農作物を購入することができ、生産者にとっては、消費者の反応が直接わかり生産意欲が向上するなど、消費者、生産者それぞれに利点があります。

このような、地域で生産したものを地域で消費する地産地消の取り組みが、「食」と「農」の距離を縮め、安全・安心な「食」を実現する上で重要なものとなっています。

食育についてのおたずねは/
健康増進課 食育推進室
(TEL 21-2211 内線4211)



すさのおの里青空市場（塩冶有原町）では、店内のタッチパネルから野菜の生産履歴を調べることができるほか、顔写真付きの生産シールを野菜に貼るなどの工夫を凝らして、安全で安心な野菜を提供しています



顔写真付き生産シール

地域の宝

郷土資料の収集にご協力を!



1万冊を超える郷土資料の中から目的の本を探しています（出雲中央図書館）

地域と住民の生活を結ぶ郷土資料は、歴史、文化、民俗など内容は多岐にわたります。これらは代替のきかない貴重な資料です。一般の流通にのらないものが多く、発行の情報もつかみにくいので、機会を逃すと入手が困難になります。

図書館では郷土資料の収集・保存に努めています。皆さんのお宅に眠っている資料はありませんか。情報をお持ちの方は図書館または図書政策課までお知らせください。

郷土資料ってどんなもの?

行政機関が発行した資料等

・統計書、調査報告書、町誌など

本だけでなく、DVD・ビデオ・CDといった録音映像資料も含まれます。

郷土について著したもの

・歴史や郷土の人物に関するもの
・地名、地図、紀行文、写真等
・伝説、民話、方言、慣習、行事等に関するもの

郷土出身者及び郷土にゆかりのある人の著した資料等

・歌集、句集、文集
・小説、随筆、自伝史

- 寄贈された郷土資料 -



今市今昔町事情

今市自治協会、今市コミュニティセンター/刊

大正時代頃からの懐かしい町の姿、風習、言葉などを紹介。CDでも楽しめます。

川柳いずも

いずも川柳会/刊

昨年創立80年を迎えた「いずも川柳会」が発行(隔月)している同人誌。通算300号を超えます。



顧みる八十余年～民俗探訪につとめて

石塚 尊俊/著
ワンライン/刊

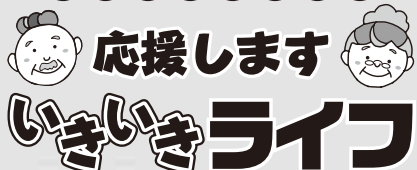
大津町に生まれ、柳田國男に師事した著者が、民俗学に捧げた研究の軌跡を自ら語る。これからの時代を築いて行く地域の人や若い研究者たちへのメッセージを贈る一冊。



おたずね

出雲中央図書館	21-0487
平田図書館	63-4010
佐田図書館	84-9050
海辺の多伎図書館	86-7077
湖陵図書室	43-3309
大社図書館	53-6510
出雲市教育委員会図書政策課	
企画情報サービス係	21-6826
子ども読書推進係	21-6266

国民年金シリーズ



(4) 保険料の納付について

国民年金保険料の納め忘れはありませんか?

国民年金の保険料は、20歳から60歳までの40年間納めることになっています。保険料の納め忘れがあると、将来の年金額が少なくなるだけでなく、もしもの時の障害年金・遺族年金が受けられなくなることがあります。

保険料の納付方法は?

毎月の保険料13,860円(平成18年度)を翌月末までに納めます。納め忘れてしまい2年経つと時効で納められなくなりますので忘れずにきちんと納めましょう。

保険料は社会保険庁から送付された納付書で、郵便局や銀行などの金融機関、社会保険事務所、コンビニエンスストアで納めることができます。また、口座振替なら毎月自動で引き落とされますので納め忘れもなく便利です。

～ 口座振替は「早割」がお得です! ～

保険料を当月末の口座振替(早割)にすると月々50円の割引があります。

翌月末口座振替13,860円 当月末口座振替(早割)13,810円

国民年金に関するおたずねは 島根社会保険事務局出雲事務所 (TEL 24-0042) 市役所保険年金課 (TEL 21-2211 内線4317)・各支所年金担当課

お知らせ

多伎図書館 「世界遺産 カメラ紀行写真展」

自然が数万年かけて造り上げた景観や文化遺産の数々を紹介しています。

とき 1月13日～21日

ところ 海辺の多伎図書館 展示スペース

佐田図書館 「参加者募集 児童文学を読む会」

とき 1月27日 14時～16時30分

ところ スサノオホール2階 課題図書「ねずみ女房」(ルーマー・ゴッデン/作 石井桃子/訳 福音館書店/刊)

出雲中央図書館 「参加者募集 英語で楽しむ絵本の世界」

とき 1月29日、2月13日 いずれも16時～17時

ところ 出雲中央図書館 講師 国際交流員(ジュディ・トラン、ピア・バイウイネン)

募集人数 各25人(先着順) 申し込み・おたずね 出雲中央図書館

図書館(室)で借りた本は6つのどこの図書館でも返すことができます。